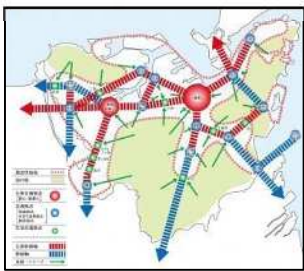

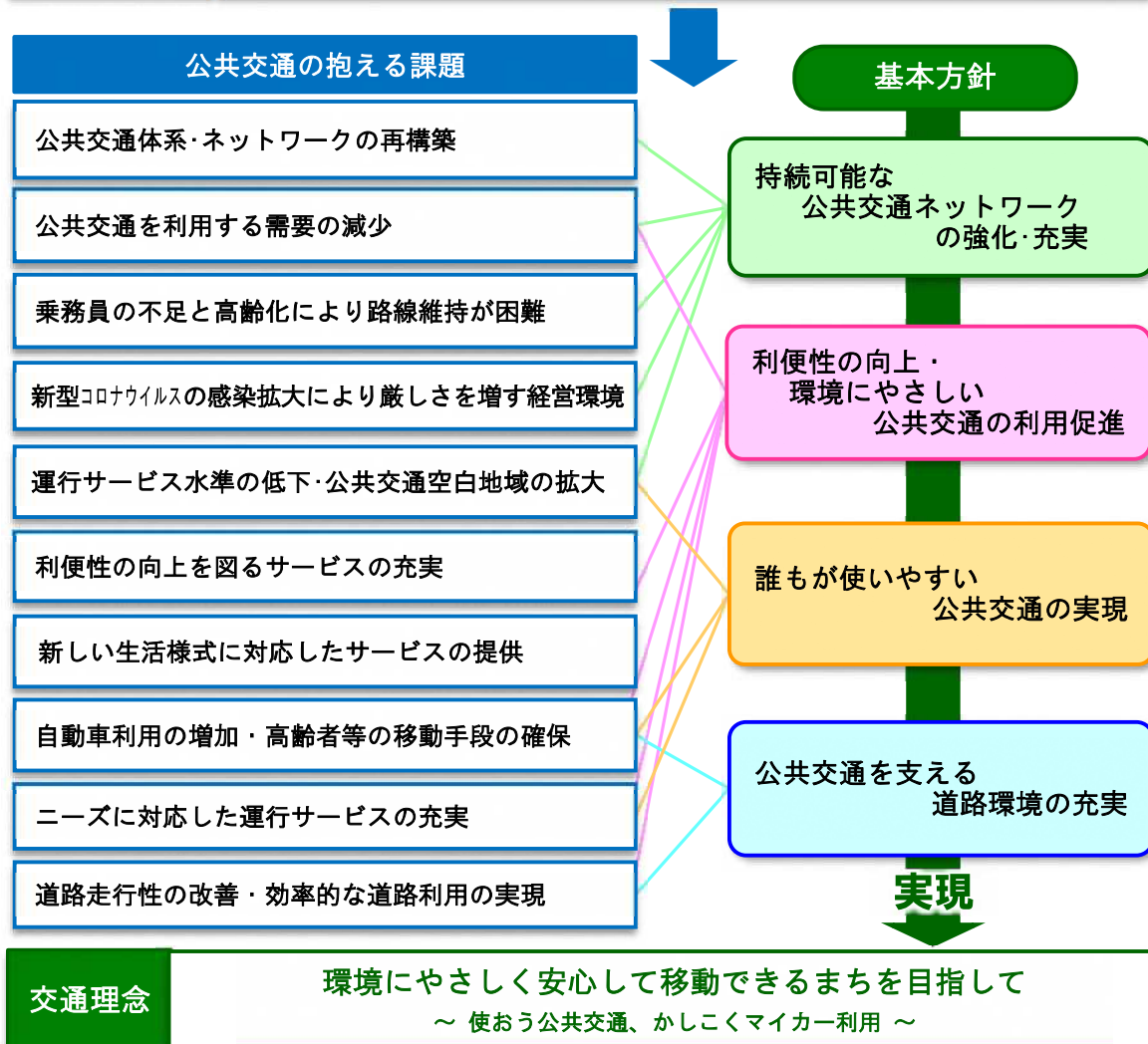


## 4. 交通理念と基本方針

北九州市が掲げる交通理念の実現に向け、公共交通の抱える課題解決に向けた取り組みの視点と目指すべき交通体系、これまでの取り組みを踏まえて、4つの基本方針を策定します。

課題解決に向けた取り組みの視点	<p><b>視点1</b> まちづくりと一体となった生活交通の確保</p> <p><b>視点2</b> 持続可能な公共交通体系の実現に向けたネットワークの再編</p> <p><b>視点3</b> 地域に応じた公共交通サービスレベル</p> <p><b>視点4</b> 各主体の役割の明確化と一体的な実践</p>
-----------------	---

目指すべき交通体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>公共交通拠点</b> (主要交通拠点, 交通拠点, 生活交通拠点)</li> <li>■ <b>公共交通軸</b> (主要幹線軸, 幹線軸)</li> <li>■ <b>支線</b></li> <li>■ <b>公共交通ネットワーク</b> (①鉄軌道交通, ②バス交通)</li> <li>■ <b>道路交通軸</b></li> <li>■ <b>歩行者・自転車交通</b></li> </ul>	<p>■ 目指すべき公共交通ネットワーク</p>   <p>■ 自動車交通軸</p>
-----------	---	---

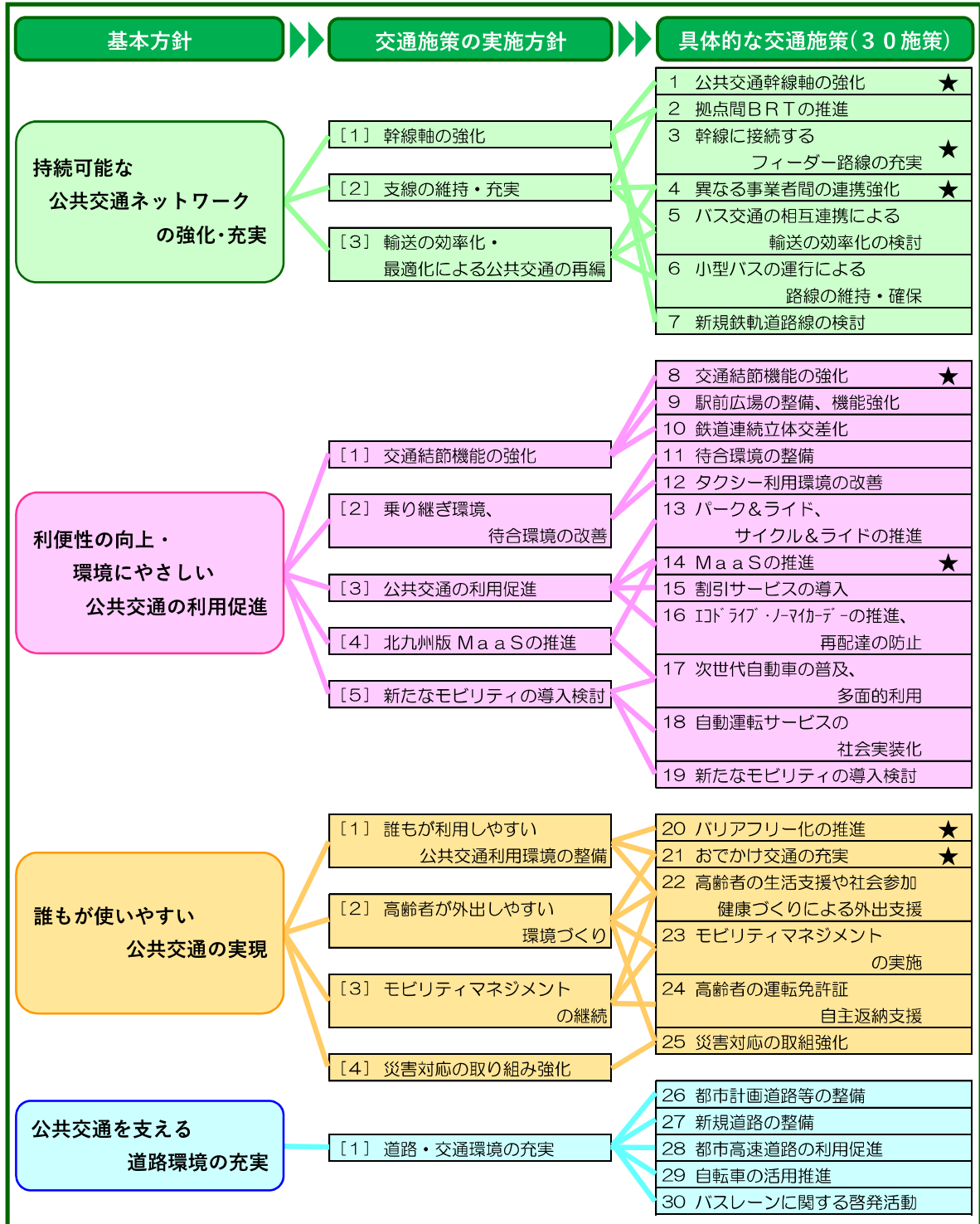


《地域公共交通計画の基本方針》

## 5. 交通施策の枠組み

基本理念の実現に向けた基本方針を踏まえて、交通施策の実施方針ならびに、具体的な交通施策（30施策）を設定し取り組みます。

さらに、具体的な30施策の中で、星印で示す7つの重点施策を柱に取組みを推進していきます。



《交通施策の枠組み》



## 施策4:異なる事業者間の連携強化

利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、異なる事業者間の連携を強化し、利用者の利便性の向上や効率的な運行に取り組みます。

### 施策内容

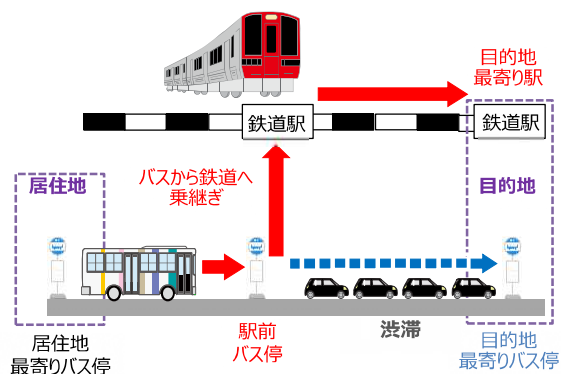
#### ①JRとバスとの連携強化

令和元年11月にJR九州と西鉄バス北九州が連携協定を締結し、令和2年3月に連携第1弾として下曽根連携モデルを開始しました。相互に連携して時刻表の案内を行うなど、乗り継ぎ利便性の向上に向けた取り組みを行っています。引き続き、第2弾、第3弾の連携を進めていきます。

##### ■JR九州と西鉄バス北九州「下曽根連携モデル」(R2.3開始)



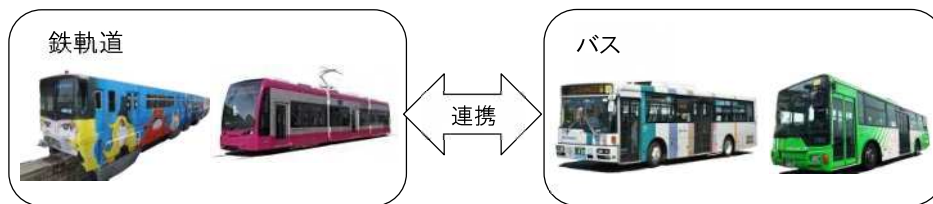
##### ■鉄道とバスの連携イメージ



#### ②モルルール・筑豊電鉄とバスとの連携

バス交通や鉄軌道などの公共交通事業者間の相互の連携により、利用者にとって利便性の高い公共交通ネットワークの構築を目指します。

##### ■バス交通と鉄軌道との連携



### KPI (重要業績指標)

異なる事業者間の連携地区数	現況値 (R3)	目標値 (R8)
	2地区	5地区